

# 1

## 章

### (仮称)町田駅周辺交通基盤・公共空間等整備方針(骨子案)

## はじめに

### 1.1 策定の背景・目的

町田駅周辺は、鉄道開通以前から交通の要衝として多くの人が行き交うまちであり、その後も商店街や大型商業施設が発展してきたことで、今では**首都圏有数の商業集積地**となっています。また、芹ヶ谷公園の緑や境川の親水といった落ち着いた自然環境がまちの魅力に厚みを加えています。

そうした中、駅周辺施設の**老朽化に伴う機能更新**や**将来の多摩都市モノレール町田方面延伸**を見据え、市では「町田駅周辺開発推進計画」（以下、「推進計画」という。）を2024年6月に策定し、関係者とともに**新たな賑わいと交流を創出**するまちづくりを推進しています。

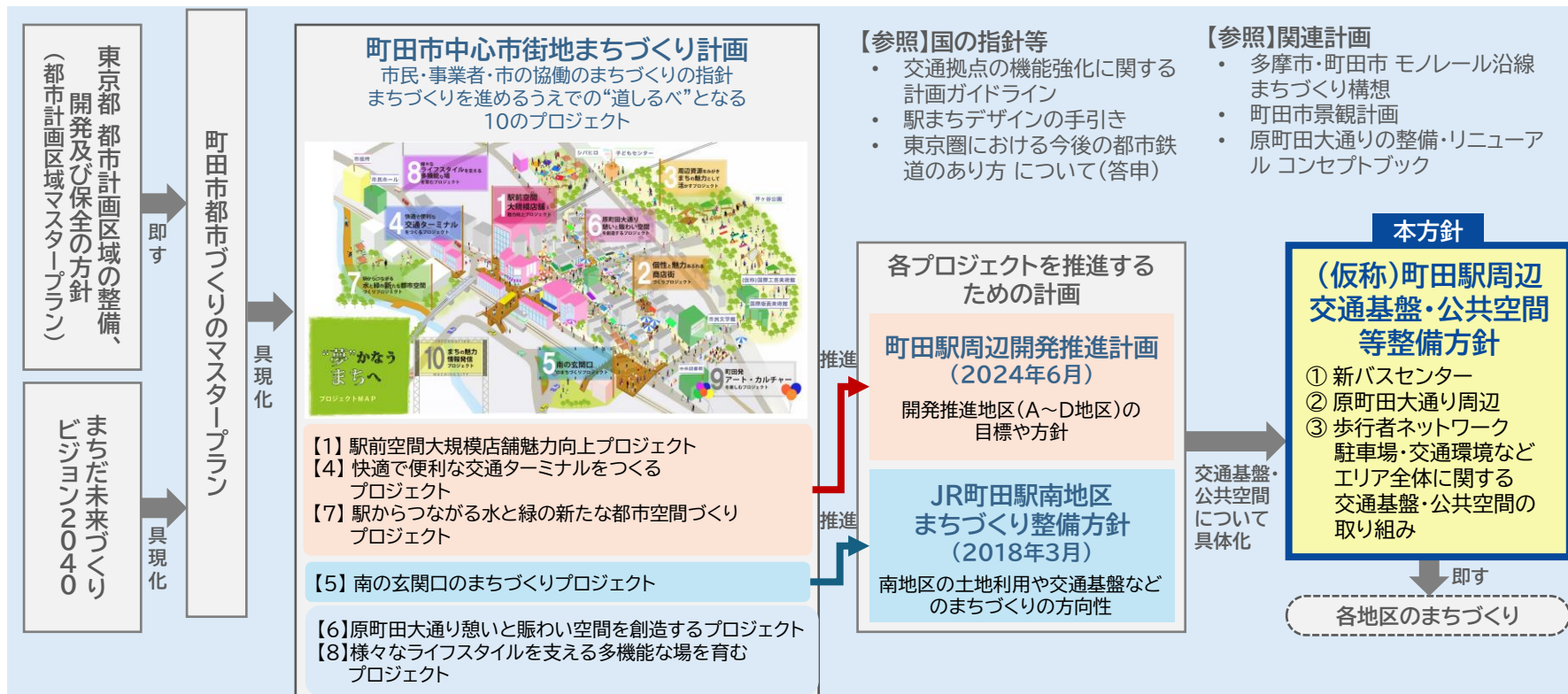
町田駅は、**多摩地域最大のターミナル駅**であり、多摩都市モノレール延伸によって、今よりもっと町田駅の利用者が増加するため、**駅からまちなかへの来訪を促し、回遊性を高める**ことが、新たな賑わいと交流を創出するうえで重要であると考えています。

これまで、開発推進地区ごとに協議会等を開催し、事業化に向けた検討を進めてまいりましたが、今後、開発推進に向けて**地権者や事業者と連携**しながら検討を深めるためには、再開発や多摩都市モノレール延伸後の**交通需要**も見据えたうえで、町田駅周辺の交通基盤・公共空間について、より**具体的な整備のあり方**を示していく必要があります。

そこで、**2040年の町田駅周辺における新たなバスセンターやペDESTリアンデッキ等の主要な交通基盤・公共空間を対象**とした、「(仮称)町田駅周辺交通基盤・公共空間等整備方針」（以下、「本方針」という。）の策定を進めています。

※（骨子案）は議論の土台となるものであり、現時点で、確定した内容ではありません。今後、地権者や事業者等と協議を行い方針策定に向け検討を進めてまいります。

### 1.2 方針の位置づけ



### 1.3 対象のエリアとテーマ

本方針では、推進計画における開発推進地区A～D地区とJR町田駅南地区（以下、「開発地区」という。）を中心とした**駅まち空間**※として一体のエリアを対象とします。

そのうえで、2040年までに想定される各地区の開発や将来の多摩都市モノレールの延伸を見据え、**特に機能向上を図るべき「まちの骨格」**について、次の**3つのテーマ**に分けて具体的な整備方針を示します。

また、各テーマの整備効果を最大化するため、**エリア全体で取り組むこと**を示します。

※「駅まち空間」とは、駅や駅前広場と、周辺市街地との関係も踏まえ、一体的に必要な機能の配置を検討することが期待される空間です。

